

# 学校だより



## 育みたい力

校長 続橋 正寿

「子どもたちが大人になったとき、自分らしさを発揮し、生きがいと誇りをもって社会で活躍する。」そんな幸せな姿を願い、その実現の一助となるべく、日吉台中学校では教職員が一丸となって取り組んでいます。義務教育9年間で育みたい力は「学びに向かう力」「社会に適應する力」「生きがいを見いだす力」の3つに大別できます。

### 1 学びに向かう力

知恵は、自分が得た知識を上手に組み合わせ、有効に活用することで獲得できる能力で、様々なものを生み出す考える力です。だから学問は必要ですね。「気づき考え」「自分で決めて」「進んで行動する」ことで、予測困難な未来を力強く生き抜いてほしいものです。

### 2 社会に適應する力

社会で生きていくためには、基本的な生活習慣の確立、心身の健康、体力、心の強さ、豊かな感性が必要です。また、社会の一員として受け入れられ、安心して生活するためには、自分の気持ちや考えをきちんと伝えたり、他者を理解しようとしたりする姿勢やコミュニケーション力も必要です。時として、学歴よりもこの力の方が大事だったりしますよね。

### 3 生きがいを見いだす力

集団の中で自分らしさを発揮して全体に貢献することを通して、自分には良いところがある（自己肯定感を高める）と自覚できたり、自分の存在が集団の中で役に立っている、頼りにされている（自己有用感）と誇らしく感じたりできることを積み重ねて、大人になったときに人生に生きがいがある、そして、誇りと楽しみをもって社会で活躍し、幸せと感ぜられる人になってほしいと願っています。

では、そのためにはどうすれば良いのでしょうか？簡単に言えば「今すべきことに全力を尽くす」これに尽きます。

人は大人に近づくまで、いろいろ試し、自分に向いている（自分が好きな！得意な！やりがいのある！）ことを見つけ、それを活かして社会に出て行くことになります。そのために学校は、子どもの可能性を広げる仕掛けをたくさん用意しています。だから今は、バランスよく、何事にも全力で取り組むことが必要です。小中学生の頃から「私にはこれは向いてないから」と挑戦も、努力もしないということを許してはいけません。嫌なこと、苦手なことから逃げずに粘り強く取り組むからこそ見えてくるものがあります。そして苦勞の末に成功したときの達成感は一入です。たとえ成果が上がらなくてもその過程で多くのことが得られることも見逃してはいけません。専門性を追求し始めるのは、中学校卒業後で十分です。

学習以外では、部活動等自分の好きなことやボランティア活動などを通して人との距離感やコミュニケーション力を高めてほしいです。ゲームの世界に没頭してばかりではだめですよ。具体的には「しっかり運動して、しっかり食べて、しっかり寝る」「誰にでも素直にあいさつやお礼やお詫びが言える」「仲間と協力して目標に向かって自分のできることを精一杯がんばる」「絆を結ぶ」などでしょうか。

親は、子どもに失敗させたくないという思いからつつい先回りし、自主性の芽を摘んでしまいがちです。（私もそうですが・・・）大人たる者、大局を見てどっしり構えたいものです。

最後になりましたが、日吉台中学校に関わるすべての方、一年間、ご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

## 【1年生】 百人一首大会 球技大会

### 百人一首大会 2月23日(木)

日ごろから独自の覚え方を考案してクラスメイトに教えている生徒や、札の覚え方シートが破れるほど覚えようとしている生徒など、前向きに札を取りに行く姿勢が多く見られました。本番は1位9組、2位5組、3位1組という結果になりましたが、対戦中はどの教室も歓声や悲鳴が響き渡り、悔しさから早くも来年の目標を立てている生徒もいました。学年全体として来年以降どのくらいレベルアップした対戦を見せてくれるのか、今後も期待しています。

百人一首大会担当 野本亮太郎

### 球技大会 3月14日(火)

「全員が楽しむことができる球技大会を運営したい」という想いのもと、球技大会実行委員が企画・運営を行いました。クラスの垣根を越えてお互いに応援をする姿も多くみられ、最後の学年行事でさらに団結力を高めることができました。優勝チームVS先生チームの対決は特に盛り上がり、先生たちを含め赤学年が一つになった瞬間でした。実行委員長も言っていたように、この1年間での様々な経験を来年度に活かしていけるような学年であってほしいと願います。

球技大会担当 吉岡美樹

昨年4月に入学してから生徒たちは、クラス・学年の仲間と共に生活し、お互いを思いやり、学習活動や行事を経験して大きく成長しました。保護者の皆様におかれましては、ご理解とご支援をいただき誠にありがとうございました。

1学年主任 宮本裕史



## 【2年生】 球技大会



とてもよいお天気の中、「最高の思い出を残すには、フェアプレーでいきましょう。最後、笑顔で終われるよう一致団結して臨んでください。」の言葉で始まった球技大会。本当にその言葉通り、フェアプレーで笑顔あふれる1日となりました。行動の素早さやプレー中の声掛け、応援など様々な場面で思いやりや成長を感じる1日となりました。

そして青学年の先輩から、日吉台中学校の伝統を受け継ぎ、新しい伝統を築いていくというバトンを受け取りました。コロナ禍ということもあり卒業式には参列できませんでしたが、卒業式の予行ではオンラインではありましたが、先輩方の立派な姿を見ることができ、最上級生になるという心構えができた人が多かったように思います。

中学校3年間の最後の1年は、最上級生としての1年でもあり、また最高の仲間と切磋琢磨していく1年にしていきたいと思います。これからも一人ひとりの成長する姿を楽しみにしています。

### 【3年生】 ～青学年生徒のみなさん、卒業おめでとうございます！～



3月8日、第75回卒業証書授与式が行われ、青学年生徒383名が巣立っていきました。Withコロナの3年間は、当たり前になってきたことができないというもどかしさを感じながらの日々でしたが、生徒たちは「できること」への感謝の気持ちを忘れずに、精一杯の力を注いで学校生活を送りました。卒業前には、“Bluetooth Memory”というスローガンのもと、お別れ会でダンスや歌、ピアノの連弾、ものまね等、個性豊かなステージ発表を披露したり、ディズニーランドへの遠足を楽しんだり、最後の思い出づくりができたようです。自分自身を大切に、そして周りの人たちとのつながりを大切に、これから続く道りを歩いて行ってほしいと願っています。

#### 日吉台中学校のホームページです！！

学校からのお知らせ等を掲載しています。是非ご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/hiyoshidai/>



現行のメール配信システム（横浜ネットワーク）の使用は、3月31日（金）までとなります。  
4月1日（土）より、学校連絡・情報共有サービスCOCOO(コクー)を導入いたします。